

個別注記表

<重要な会計方針に係る事項に関する注記>

1. 資産の評価基準および評価方法

(1) 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの・・・決算日の市場価格に基づく時価法を採用しております。

なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。

時価のないもの・・・移動平均法に基づく原価法を採用しております。

(2) 棚卸資産・・・主として個別法に基づく原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）・・・定率法を採用しております。

なお、耐用年数および残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法を採用しております。

なお、耐用年数については法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、自社利用のソフトウェアについては社内における見込利用可能期間（おおむね5年）に基づく定額法によっております。

(3) リース資産・・・リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 工事損失引当金

将来の損失に備えるため、当事業年度末における未引渡工事のうち損失の発生が確実であり、かつ、その金額を合理的に見積ることができる工事について、その損失見込額を計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支出に備えるため、当事業年度における支給見込み額を計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務から中小企業退職金共済制度における給付相当額を控除した額を計上しております。

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（13年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（13年）による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理することとしております。

(5) 完成工事補償引当金

完成工事に対する補償費用に充てるため、完成工事の補償費用見積高を算出した額を引き当てております。

4. 収益および費用の計上基準

当事業年度に受注した30,000千円以上、または工期が1年を超える工事請負のうち、当事業年度末までに進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度の期間費用としております。

(追加情報)

当社は、役員の退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく当事業年度末要支出見込額を「役員退職慰労引当金」に計上しておりましたが、平成 25 年 5 月 16 日取締役会決議において、役員退職慰労金制度を廃止することを決議するとともに、平成 25 年 6 月 18 日開催の定時株主総会において、在任期間に対応する役員退職慰労金を打切り支給することを決議いたしました。これにより、当事業年度において「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打切り支給に伴う未払額 83,490 千円を「長期未払金」に含めて表示しております。

<貸借対照表に関する注記>

1. 記載金額は千円未満切り捨てて表示しております。
2. 有形固定資産に対する減価償却累計額 620,497 千円
3. 保証債務

被保証者	保証金額	被保証債務の内容
株式会社 プレサンスコーポレーション	34,152 千円	手付金保証
和田興産株式会社	143,205 千円	手付金保証

4. 関係会社に対する金銭債権および金銭債務（関係会社預け金を除く）

短期金銭債権	293,570 千円	長期金銭債権	－ 千円
短期金銭債務	－ 千円	長期金銭債務	－ 千円
5. 関係会社預け金は新明和グループ CMS 余剰資金運用制度により新明和工業株式会社へ資金を預託しているものであります。

<損益計算書に関する注記>

関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高	1,470,536 千円
仕入高	205 千円
営業取引以外の取引高	24,539 千円

<株主資本等変動計算書に関する注記>

1. 当事業年度末における発行済株式の種類および数 9,215,033 株
 全部取得条項付普通株式 9,215,022 株 A 種種類株式 11 株
2. 当事業年度末における自己株式の種類および株式数

株式の種類	前事業年度末 株式数 (株)	当事業年度 増加株式数 (株)	当事業年度 減少株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
全部取得条項付 普通株式	9,215,022	0	0	9,215,022
A 種種類株式	1	0	0	1

<土地の再評価に関する注記>

土地の再評価に関する法律(平成 10 年 3 月 31 日公布法律第 34 号)に基づき、事業用の土地の再評価を行い、土地再評価差額金を純資産の部に計上しております。